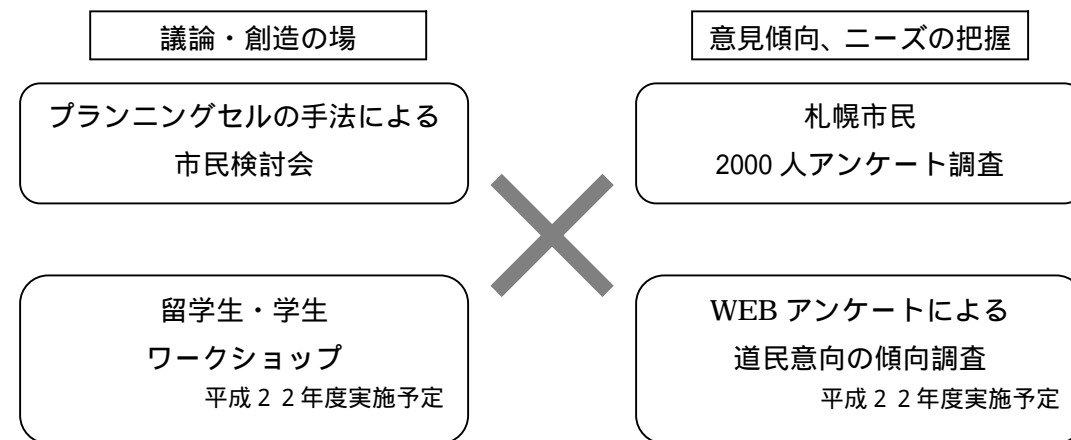


今後の市民意見等の把握について

1. 札幌駅交流拠点の利用者の意見把握

- 札幌駅交流拠点は以下の利用者が考えられ、札幌駅交流拠点再整備構想の検討にあたっては、それぞれの利用者の意見傾向を把握することが求められる。
 - 日常的な利用者としての札幌市民
 - 旅行や出張などで利用する北海道民（札幌市民以外）
 - 札幌駅交流拠点再整備構想が考える 20 年後の札幌駅交流拠点の利用者である学生
 - 「国際都市さっぽろ」を掲げ、国際性を強化していく中での利用が想定される外国人



【札幌市民の意見把握】 (実施済み) 市民アンケート及び市民検討会の開催

- 最も利用頻度の高い市民の意見傾向を把握するために、「市民アンケート」及び「市民検討会」を実施した
- 大勢の一般的な意見傾向を把握するために、市民アンケートを実施した。
- 関連事業などの情報共有と 20 年後の札幌駅交流拠点について発想を膨らませながら検討するためにワークショップ形式の「市民検討会」を開催した。なお、一般的な市民傾向をバランス良く把握するために、市民検討会の参加者は性別や年齢、住まいなどの偏りが生じない手法により選出した。

【北海道民の意見把握】 平成 22 年度に WEB アンケートを実施予定

- 旅行や出張などで札幌駅交流拠点を利用する北海道全体の市民を対象にアンケート調査を実施する。
- 地域を限定せず多数の票数を確保することが望ましいので、WEB アンケートを実施する。

【将来の利用者、外国人の利用者の意見把握】 平成 22 年度に留学生・学生ワークショップを開催予定

- 札幌駅交流拠点再整備構想は、概ね 20 年後の将来を想定して検討を行うので、20 年後の中心的な利用者となることが考えられる学生とのワークショップを開催する。
- 加えて、「国際都市さっぽろ」を掲げ、今後、国際性を強化していく中での利用が増加していくことが予想される留学生を対象にしたワークショップを行うことが望ましい。
- 文化や考え方の異なる留学生と日本人の学生の合同で意見交換を行うことにより、日本人の学生には国際的な視点などでの新たな発見を、留学生は日本の文化などを踏まえながら検討を行うことができる。
- さらに、留学生は郷土や地域に対する愛着が強い傾向があるので、ワークショップなどに参加して札幌の理解度を深めてもらうことで、帰国後など、海外で札幌を PR してくれる札幌サポーターとなってくれることが期待できる。
- 参加を募る学生は、日常的な利用者として札幌市内の大学生、道都の玄関口としての視点から札幌市外の大学生、国際都市の顔としての視点から札幌の大学の留学生を対象とする予定である。

留学生・学生のワークショップ
将来にわたる札幌駅交流拠点の利用者という視点から留学生と学生によるワークショップを開催する。
参加対象
札幌市内の学生、札幌市外の学生、留学生

市民意見の把握の進め方

平成 21 年度の検討

第 1 回札幌駅交流拠点再整備構想案策定委員会
平成 21 年 1 月 13 日

第 1 回・第 2 回市民検討会
平成 21 年 2 月 13 日・21 日

第 2 回札幌駅交流拠点再整備構想案策定委員会
平成 21 年 3 月 26 日

平成 22 年度の検討

留学生・学生ワークショップ

北海道民を対象にした WEB アンケート

第 3 回以降 札幌駅交流拠点再整備構想案策定委員会

札幌駅交流拠点再整備構想案の策定

札幌市へ提言

市民参加の結果は、札幌駅交流拠点再整備構想案に盛り込み、札幌市へ提言する